

木工キーホルダー

今日、森林破壊は世界中で大きな問題となり、日本においても廃材をどう有効利用していくかということが課題になっています。昔は、木材の持つ性質や特徴をうまく住居や道具として利用する文化がありましたが、今ではその伝統も薄れてきています。木材の有効利用を考えていくきっかけとするとともに、木の持つ魅力を生かして、素敵な逸品を作ってみませんか。



活動のねらい・期待される効果

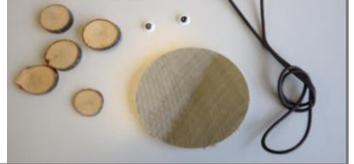
木を生活の中に取り入れてきた日本人の伝統に触れ、木の持つ味わいを感じ取ることができます。また、木材をどのように有効利用できるかということから環境問題を考える機会にもなります。

実施可能人数	70名(2クラス程度) まで	活動季節・条件	通年
所要時間	1時間程度	実施場所	研修室
主な対象	幼児～		
指導について	作品製作は自主活動です。職員が団体の担当者に内容や手順、実施上の留意事項等を説明します。		

活動の概略

- ①ベースとなる木の上部分にきりで穴をあける。
- ②木のパーツに木工ボンドを付けて好きな位置に付ける。
- ③マジックで色塗りする。
- ④穴をあけた部分にひもを通す。

セット内容



交流の家で貸し出しができる用具・材料

キリ、木の板、木工ボンド、竹串、マジック、ポスカ、新聞紙、ぞうきん、ごみ袋

利用者または団体に準備する用具・材料

特にありません。

購入する物（消費税込）

木工キーホルダーセット 250円 [ほうの木輪切り、ひも40cm、動眼8mm、木のパーツ]

活動の流れ

- ①職員との事前打合せ 研修場所、用具、実施上の留意事項等を確認し、作り方の説明を受けます。
- ②用具の受け取り・活動場所の準備 貸出用具と購入物品を受け取り、活動場所の準備をします。
- ③活動 決められた研修室で活動します。
- ④ふりかえり できあがった作品を眺めながら活動をふりかえります。
- ⑤用具の片づけ 活動場所の清掃、ごみの処理、貸出用具の返却をします。

安全対策・環境への留意点

- ・床、机などを傷ついたり、汚さないように配慮してください。
 - ・活動終了後は、使った場所の清掃を行い、職員の点検を受けてください。
 - ・貸出用具は教材室前に返却し、ごみ袋は事務室へ持ってきてください。
- ※団体の方が持ってこられたものから出たごみについては、お持ち帰りください。